

オンラインワークショップ: 初中級読解を見直そう!

—『The Great Japanese 30の物語[初中級]人物で学ぶ日本語』を使って—

石川 智

米本 和弘

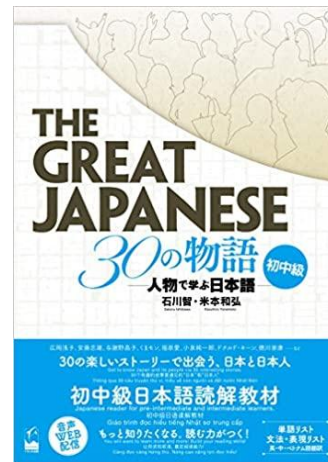
森 祐太

自己紹介

石川 智:ボストン大学世界言語文学学科専任講師

米本 和弘:東京医科歯科大学統合国際機構助教

森 祐太:ライデン大学地域研究科 講師



初級レベル
作成中

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)

1. アンケート結果／分析(15分)
2. 読解に必要な能力とは?(10分)
3. 読解の授業と教材(10分)
＜休憩＞
4. グループワーク1:自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)
5. グループワーク2:授業案を考える(20+10分)
6. 質疑応答(10分)

0. ウォームアップ (10分)

- まずはグループ内で**簡単な自己紹介**をお願いします。
- 次に下の質問について、話し合ってください。

Q. 初級レベルで読解活動を行う時に、何か困っていること／難しいと感じることはありますか。

- 書記の方を1人決めて、話し合った内容をメモしてください。
 - チャットでお送りした[Google Driveのフォルダー](#)を開いてください。
(Bookmarkをおすすめします)
 - **「ウォームアップ」**という名前のファイルを開いてください。
 - 自分のグループの部屋番号のスライドに、話し合った内容をまとめてください。

Zoom Meeting - ルーム 1

0. ウォームアップ (10分)

Q. 初級レベルで読解活動を行う時に、何か困っていること／難しいと感じることはありますか。

0. ウォームアップ

事前のアンケート結果から

＜読解の教材＞

- 初級レベルの読解は素材が限られている。
 - 学習者も教師も興味がない題材の時はどうするか？
 - 学習者の興味関心をどう高めるか？

＜読解授業の方法＞

- 工夫はしているが、読解の授業は単調になりやすく、学生の集中力が続かない
- 授業時間の制限がある
 - 読解は時間がかかる
 - 非漢字圏学習者の漢字への苦手意識

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)
- 1. アンケート結果／分析(15分)**
2. 読解に必要な能力とは?(10分)
3. 読解の授業と教材(10分)
＜休憩＞
4. グループワーク1:自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)
5. グループワーク2:授業案を考える(20+10分)
6. 質疑応答(10分)

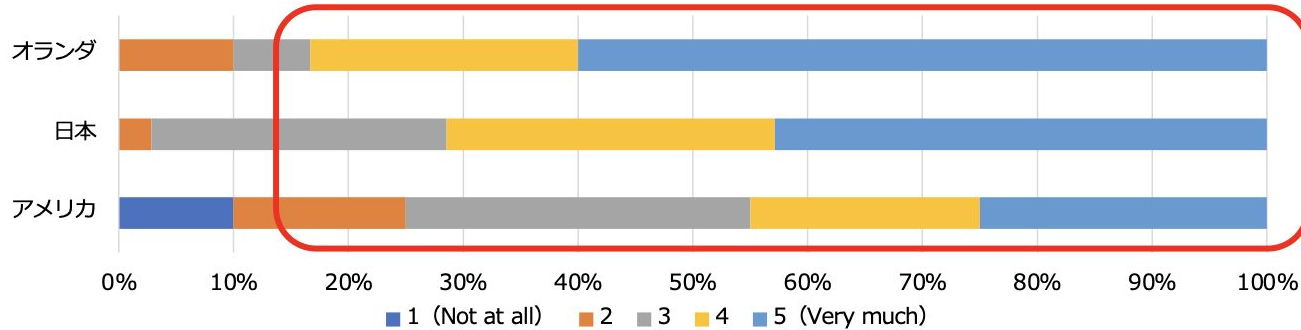
1. アンケートの結果／分析

「読解」に対する学習者と教員の認識

- 学生 (N=75)
 - オランダ (N=30)、日本 (N=35)、アメリカ (N=20)
 - 大学で初級日本語の授業を受講
 - 大半の学生が市販の総合教科書を使用して学習
- 教員 (N=79)
 - 日本国内 (N=49)、海外 (N=30)
 - 日本語学校 (N=26)、大学 (N=30)、フリーランス (N=7)、その他 (N=16)

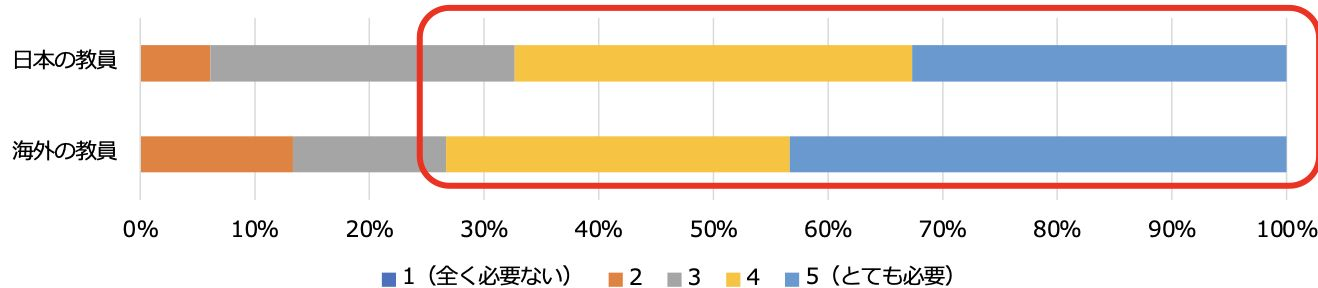
1. アンケートの結果／分析

読解能力の必要性 (学生)



国に関わらず、読解能力が必要と考える学生が多い

読解能力の必要性 (教員)



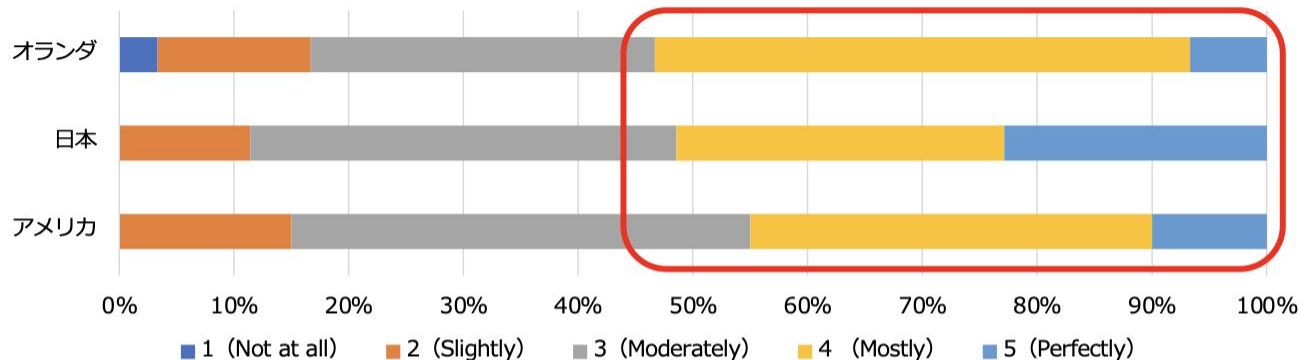
日本国内・海外に関わらず、読解能力が必要と考える教員が多い

何が読解能力の必要性に対する認識に影響を与えているのか？

どこで学んでいるかは読解力の必要性を考える上で大きな要因ではない可能性

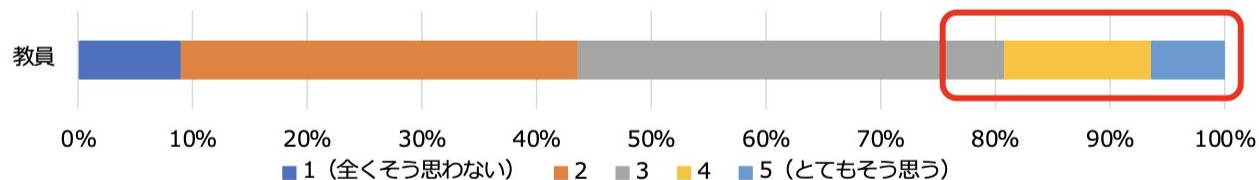
1. アンケートの結果／分析

使用した教科書に読みたいと思うものがあつたか（学生）



使用した教科書に
読みたいものがあつ
たと思う学生が多い

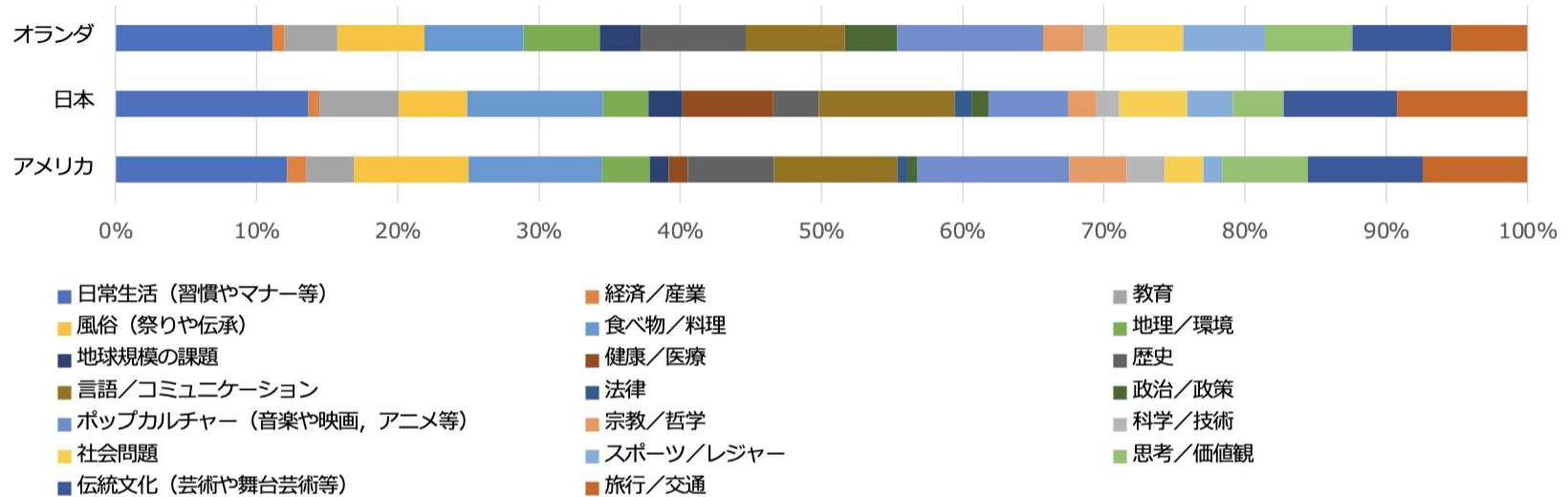
使用した教科書に学習者が読みたいと思うものがあつたか（教員）



使用した教科書に
学生が読みたいと思
うものがあつたと思
う教員が少ない

1. アンケートの結果／分析

読みたいと思っていたトピック（複数回答可）

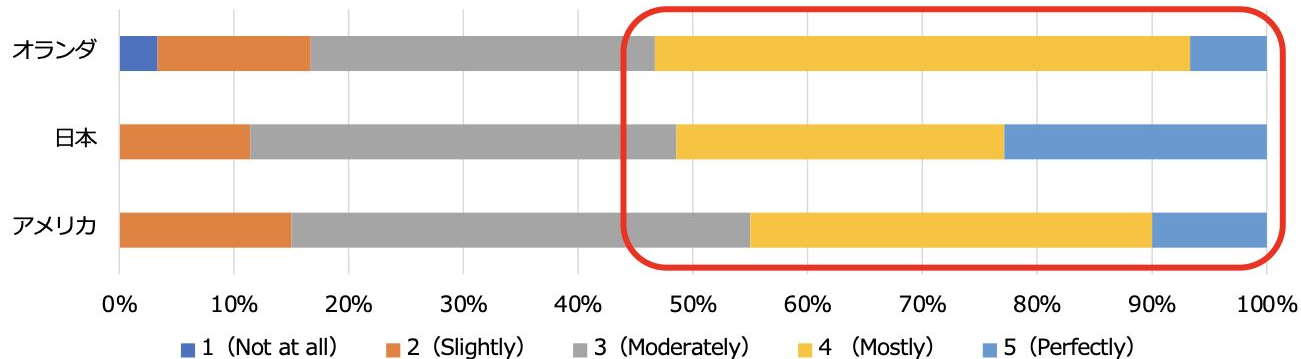


学生の声

- ほとんどの教科書は日常生活を取り上げています。初級なので、それは当然ではあるのですが、時には趣向を変えたほうがおもしろいかもしれません。(オランダ)
- 日常生活文や会話が中心で、歴史や文化はそれほど含まれていない。(日本)
- 伝統や文化に触れるセクションはあったが、それらはあまり重視されていなかった。(アメリカ)

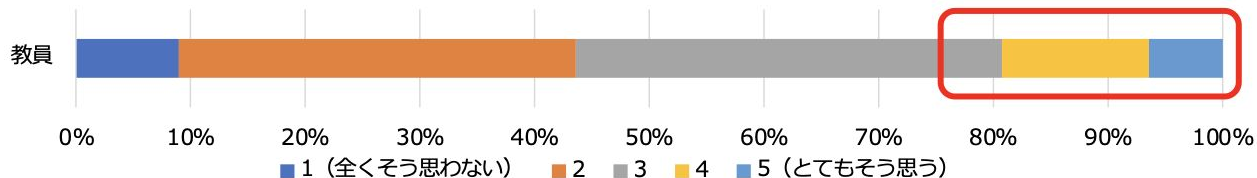
1. アンケートの結果／分析

使用した教科書に読みたいと思うものがあつたか（学生）



使用した教科書に
読みたいものがあつ
たと思う学生が多い

使用した教科書に学習者が読みたいと思うものがあつたか（教員）



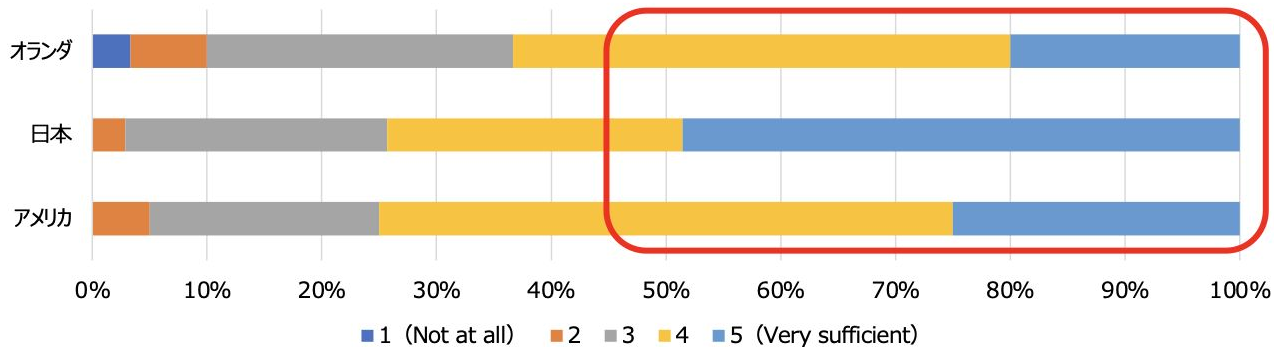
使用した教科書に
学生が読みたいと思
うものがあつたと思
う教員が少ない

なぜ学生は使用してきた教材に
満足しているように見えるのか？

現実には、学生が読みたいものが
教材にはなかった可能性

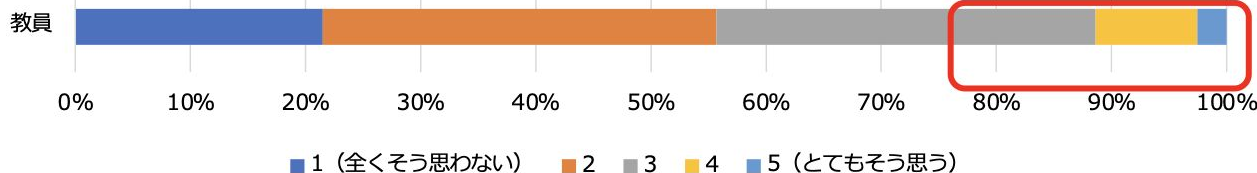
1. アンケートの結果／分析

読解に十分な時間が割かれていたか（学生）



読解に十分な時間が割かれていたと思う学生が多い

読解に十分な時間が割かれていたか（教員）



読解に十分な時間が割かれていたと思う教員が少ない

なぜ学生は読解に十分な時間が割かれていたと考えたのか？

現実には、コース全体に占める読解に充てる時間の割合は少ない可能性

1. アンケートの結果／分析

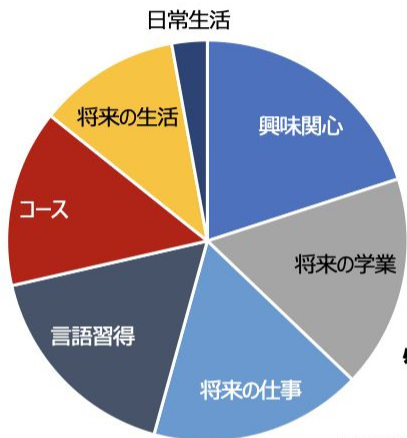
3つの疑問について考える

- ① 何が読解能力の必要性に対する認識に影響を与えているのか？
- ② なぜ学生は使用してきた教材に満足しているように見えるのか？
- ③ なぜ学生は読解に十分な時間が割かれていたと考えたのか？

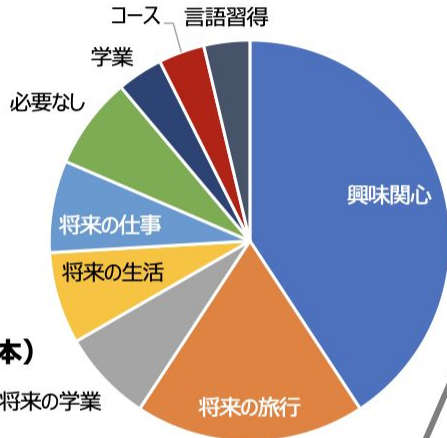
1. アンケートの結果／分析

①何が読解能力の必要性に対する認識に影響を与えているのか？

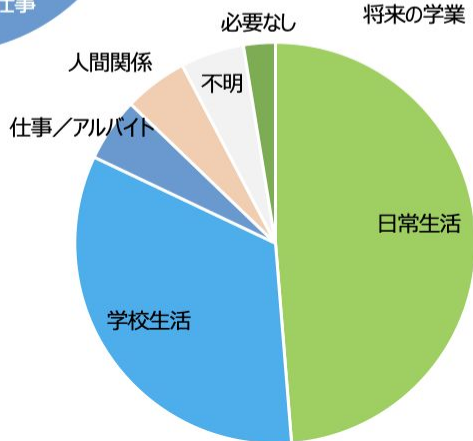
必要度の理由（オランダ）



必要度の理由（アメリカ）

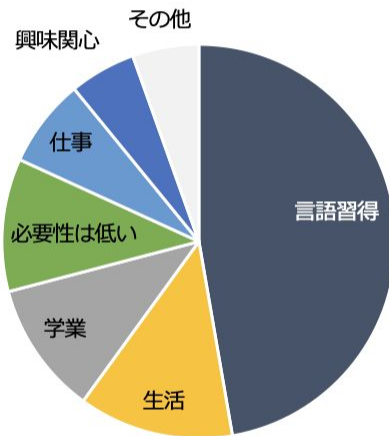


必要度の理由（日本）



教員の回答

必要度の理由（教員）



学生の回答

- 初級で読むことを身につけることで中級、上級へとステップアップが期待できるから。
- 初級で読むことに慣れていないと、中級に入ると読解の比重が増えた時に苦勞するから。

1. アンケートの結果／分析

②なぜ学生は使用してきた教材に満足しているように見えるのか？

③なぜ学生は読解に十分な時間が割かれていたと考えたのか？

「初級」に対するイメージ

- 私たちはまだ初級学習者だから、日本全体に関しても初級だと思う。(オランダ)
 - すばらしい初級の教科書だと思う。(アメリカ)
- 初級で読めるものは限られていると考えている。

「教科書」に対するイメージ

- 日本の文化、歴史、現在の日常をネイティブの視点から理解するために日本語を学びたいから。(オランダ)
 - 日米間の文化の違いや簡単な歴史の説明がある。(アメリカ)
- 教科書は何かを教えてくれるものと考えている。

「読解」に対するイメージ

- Genkiの読解は習った単語や文法をもとにしているので、よく読めている感じがする。(日本)
 - Genkiのトピックのほとんどは日常生活の会話に関するものだが、他の活動で日本文化について学ぶことができる。(日本)
- 読解とはこういうものだと考えている。

回答
教員の

- 初級では負担の大きい読解よりも、聴解や会話を優先すべきだと考える。
- 「初級レベルは聞く/話す为中心」と決めつけてしまうのは、教師の傲慢と言えるかもしれません。

1. アンケートの結果／分析

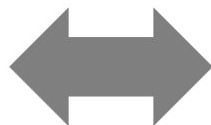
読解授業を設計する際に確認／検討が必要なことは？

教員の視点

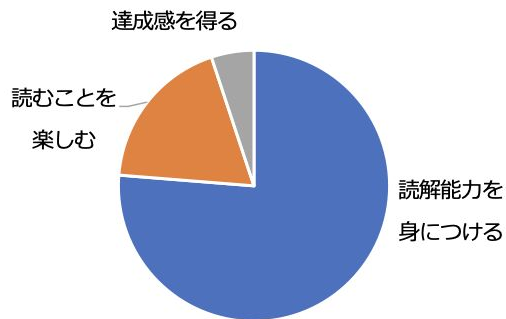
- ✓ 学生は実際に何が読めるのか
 - 「初級」の枠にはめていないか。
- ✓ 読解の授業の目標は何か
 - 「読解」「教科書」の枠にはめていないか
 - 何が、どのように読めるようになることを目指すのか

学習者の視点

- ✓ 実際に何が読めると考えているのか
 - 「初級」「読解」の枠にはまっていないか
- ✓ どこで、何を読む必要があるのか
- ✓ 何を読みたいと思っているのか
 - 何に興味があるのか
 - 「初級」「教科書」の枠にはまっていないか



読解活動の目標



教員の回答

- (読解能力) 文法表現の使われ方の確認や、内容読解ができていること、指示代名詞が何を指しているかや、修飾部はどこからどこまでかを理解していること。また、読解に使われている語彙も吸収し、語彙力を伸ばすことも目標です。
- (楽しむ・達成感) 習ったことが、わかるという達成感や読む楽しさを味わったり、好きなマンガが日本語で読めるという実感があること

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)
1. アンケート結果／分析(15分)
- 2. 読解に必要な能力とは？(10分)**
3. 読解の授業と教材(10分)
＜休憩＞
4. グループワーク1: 自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)
5. グループワーク2: 授業案を考える(20+10分)
6. 質疑応答(10分)

2. 読解に必要な能力とは？

AppleのM1チップが搭載された最上位機種のコピュータを買ったら、友達に「猫に小判だね」と言われたが、そんなことはないと思っている。けれど、僕は何も言わなかった。

1. 言語的な能力

文字: ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット

語彙: 搭載、最上位、買う、猫 etc.

文法: ~れる・られる(受け身)、~たら

修飾関係 (Appleの~最上位機種のコピュータ)

接続関係 (~が、けれど~) etc.

指示詞: そんな(=猫に小判だということ)

省略: (僕は)そんなことはないと思っている。

2. 読解に必要な能力とは？

AppleのM1チップが搭載された最上位機種コンピュータを買ったら、友達に「猫に小判だね」と言われたが、そんなことはないと思っている。けれど、僕は何も言わなかった。

2. 社会常識などの一般に関する知識

Apple、M1チップ 他(例) 遺伝子、学習障害、孔子etc.

3. 目標言語における社会・文化的知識

(外国語に翻訳した場合に、直訳以上の説明を必要とするもの)

小判 「猫に小判」(ことわざ) 他(例) 恩、幕府etc.

4. 読解のストラテジーやスキルを使用したり活性化させることによって理解度が 高まる。

2. 読解に必要な能力とは？

読解のストラテジー

1. ボトムアップ型：文字→単語→文→段落

2. トップダウン型：タイトル、サブタイトル、写真、表などを活用

併用型：ボトムアップ・トップダウンの双方を利用して読解を行う。

3. スキーマ理論

コンテンツスキーマ（背景知識）

フォーマルスキーマ（形式構造の知識 例.起承転結）

→予測推論をしながら読解を行う。

2.読解に必要な能力とは？

読解のスキルとして 必要だと考えられる項目

1. 精読(ボトムアップの読み方)
2. スキミング(大意取り) →文章全体のおおまかな意味を理解する。
3. スキャニング(情報取り) → 自分にとって必要な情報だけを見つけ出す
4. 文脈を類推して読む
5. 未知の箇所は飛ばして読む →分からない単語や文法は飛ばす
6. 既知の背景知識を活用して読む
→自分が知っている情報を最大限に生かす(スキーマを活用する)
7. テキストの構造を認識して読む・イメージ化する
8. 抽象的な部分は具体例から理解する
9. ひらがな→単語→句→文レベルでの認識する練習 など

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)
1. アンケート結果／分析(15分)
2. 読解に必要な能力とは？(10分)
- 3. 読解の授業と教材(10分)**
＜休憩＞
4. グループワーク1: 自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)
5. グループワーク2: 授業案を考える(20+10分)
6. 質疑応答(10分)

3. 読解授業と教材

読解の本作業を工夫する

学習者が読んで、教師が口頭で内容を質問し、学習者の内容理解をチェックする
→教師主体の授業になり、単調な作業で学習者はあきる

A. 黙読からペア・グループワーク

あるひとまとまりの文章を時間を決めて黙読させる。その後、与えられたタスクや問題について、ペアやグループで話し合う。

B. ペアリーディング

- 1) 学習者をペアにさせ、本文のある部分(例えば10行目から18行目など)や段落を、交互に音読させる。
- 2) 音読が終わったペアは、あらかじめ指定された問題(例、内容質問2の2と3など)をペアで話し合って答える。
- 3) クラス全体で、内容について確認をする

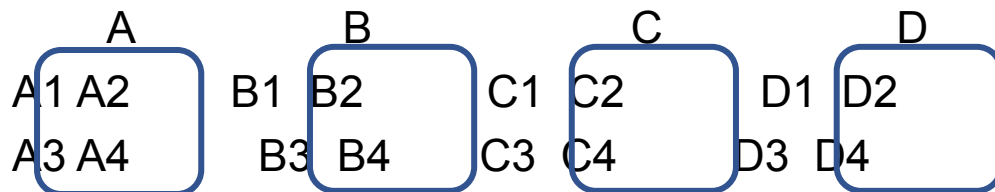
3. 読解授業と教材

読解の本作業を工夫する

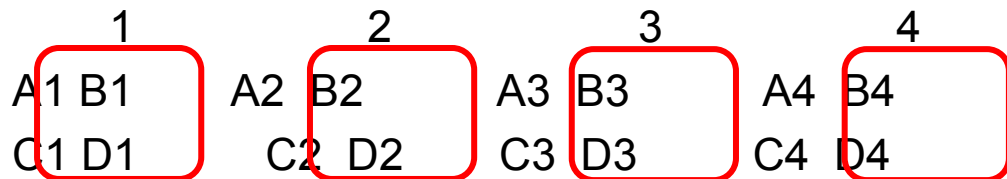
C. ジグソーリーディング

- 1) クラスをいくつかのグループに分け、グループ1は1行目から5行目、2は6行目から10行目のように読む部分を分けて読ませる。

例) 16名のクラスを4つのグループ(A~D)に



- 2) 各グループで、その部分の内容を話し合わせる。
- 3) その後、グループの組み合わせを変えて、それぞれのパートにどんなことが書いてあったか、報告させあう。



3. 読解授業と教材

『The Great Japanese 30の物語 初中級』の構成と特徴

対象レベル: 初級の後半から中級の前半 / 日本語能力試験(JLPT)の N3 を目指す

文法／語彙: N3に必要なと思われる文法・表現のリスト(148項目)

N3相当と思われる単語には、単語リストで太文字表記

漢字: N4・N5相当の漢字はふりがななし / N3相当と思われる漢字は初出のみふりがな付き

言語能力: 主に読解能力の向上 + 言語の運用能力 + (話す・書く)の養成

文化的知識: 日本の社会状況、価値観などの理解

その他の能力: 読解のストラテジー/スキル、批判的思考、異文化への理解



サンプル教材の共有

- 先程の**フォルダー**にある「読解教材サンプル」をご覧ください。

黒柳徹子
11

11

学習障害(LD)の 子供と学校

ジャンル 文化
難しさ ★

黒柳徹子 女優/タレント(1933年～)

キーワード → **学習障害(LD) / 教育 / ベストセラー**

戦後、日本で一番売れた本は1981年に黒柳徹子が書いた「窓ぎわのトットちゃん」だと言われています。2017年までに約800万部売れ、出版から30年以上経った今もまだ売れ続けているベストセラーです。平口でよく話す、おもしろい人というのが黒柳の一般的なイメージではないかと思いますが、この本を読むと、そのイメージは変わるかもしれません。

この本は黒柳が自身の子供の時のことを書いたノンフィクション作品で、「トットちゃん」は黒柳の子供のころのニックネームです。最初に入学した小学校で、トットちゃんは授業の最中に大きい音を立てたり、窓から外に向かって大きい声を出したりしてしまいました。トットちゃんはそれがとても楽しくて、先生が何度注意をしてもやめなかったため、母親は学校の先生に「トット

トットちゃんがやっていたことと全く同じ行動をしていたからだと思います。黒柳が子供の時はLDという言葉もありませんでしたが、黒柳が行った二番目の学校の先生が、怒るところか一人ひとりの子供の特徴を考えて、どうしたら楽しく勉強できるかを考えてくれていたと気づいたと言っています。そして、その番組を見て、先生が「窓は、本当は、いい子なんだよ」と言い続けてくれていたことも思い出し、LDという言葉さえなかった時代に幸せな学校生活を送らせてもらったことに感謝したそうです。

2003年に中国語に翻訳された「窓ぎわのトットちゃん」は、2017年までの14年間で1,000万部売れたそうです。国境や言葉を超えて現在もこの本が読まれているのは、一人ひとりの子供の性格や興味を考慮して、その子供に合った教育をすることの大切さに、読んでいる人が気づき、そんな教育がもっと必要だと考えているからだろうと黒柳は考えています。

学習障害: learning disability ベストセラー: best seller
 窓ぎわのトットちゃん: Totto-Chan: The Little Girl at the Window (Name of book)
 ノンフィクション: non-fiction ニックネーム: nickname 読解欄: timetable

3. 読解授業と教材

『The Great Japanese 30の物語 初中級』の構成と特徴

日本の著名人30人についての物語

分野	人物
経営	広岡浅子、松下幸之助
芸術	伊藤若冲、藤田嗣治、武満徹、安藤忠雄
文学	与謝野晶子、宮沢賢治、又吉直樹
文化	円谷英二、黒柳徹子、三宅一生、坂東玉三郎、村田吉弘 羽生善治、くまモン
スポーツ	井村雅代／小出義雄、野村忠宏、国枝慎吾、福原愛
政治	吉田茂、小泉純一郎
学者	楠本イネ、野口英世、ドナルド・キーン、田中耕一
歴史	空海、源義経、徳川家康、坂本龍馬

学習者の知的レベルに沿った読み物の内容を提供

様々な分野の人物をカバーすることで、学習者の興味に対応

3. 読解授業と教材

『The Great Japanese 30の物語 初中級』の構成と特徴

各課の構成

- 1) 本文 (+文頭: キーワード、文末: 固有名詞などの単語表)
 - 2) 読む前に1 単語の練習
 - 読む前に2
 - 3) 内容質問1 正誤問題
 - 4) 内容質問2 四択問題
 - 5) 考えをまとめよう
 - 6) 文法・表現リスト
- 読む準備のための作業
- 読み終わった後の作業

巻末: 文法・表現リスト (説明)

別冊: 単語リスト／模範解答

難しさのレベル: ★ (易) ~★★★★ (難)

それぞれのコースの必要性、学生の興味などに合わせて順序は自由

教材の共有

- 休憩の後、「読解教材サンプル」を使い、実際にこの教材でどのような授業が行えるか、グループワークを行います。
- もしお時間があれば、休憩中に「読解教材サンプル」に目を通してみてください。

休憩

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)
1. アンケート結果／分析(15分)
2. 読解に必要な能力とは？(10分)
3. 読解の授業と教材(10分)
＜休憩＞
4. **グループワーク1: 自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)**
5. **グループワーク2: 授業案を考える(20+10分)**
6. 質疑応答(10分)

4. グループワーク1 (7分)

自身の読解授業を振り返る

Q.「アンケート結果」「読解に必要な能力」「読解の授業と教材」についての話を聞いた後で、何か改善したいと思った点や挑戦してみたいと思ったことはありましたか。

- 書記の方を一人決めて、話し合った内容をメモしてください。
 - チャットでお送りした[Google Driveのフォルダー](#)を開いてください。
(Bookmarkをおすすめします)
 - **「グループワーク1」**というスライドを開いてください。
 - 自分のグループの部屋番号のスライドに、話し合った内容をまとめてください。

5. グループワーク2 (20分)

読解の授業案を考える

Step1. グループで1つの実践現場 (Ex. 大学、日本語学校、チューター) を想定してください。

Step2. 『The Great Japanese 30の物語』のサンプルの中から1人選んでください。

Step3. その授業では学習者は何をめざすか、ゴールを決めてください。

Step4. どのような活動で読解授業を行うか、話し合ってください。

* 特に、最初のウォームアップで出た悩みや問題点を乗り越えるために、どのような工夫ができると思いますか。

- 書記の方を一人決めて、話し合った内容をメモしてください。
 - チャットでお送りした[Google Driveのフォルダー](#)を開いてください。
(Bookmarkをおすすめします)
 - **「グループワーク2」**というスライドを開いてください。
 - 自分のグループの部屋番号のスライドに、話し合った内容をまとめてください。必要ならば、新しいスライドを作って、2枚以上に書いていただいてもいいです。

5. グループワーク2

- 今から**5分ほど**、スクリーン共有を解除するので、「グループワーク2」にある他のグループの授業案を各自ご覧ください。
- 何か面白い、いいなと思ったこと、気がついたことなどがあれば、チャット欄に記入をお願いします。

本日の流れ

0. ウォームアップ(10+5分)
1. アンケート結果／分析(15分)
2. 読解に必要な能力とは？(10分)
3. 読解の授業と教材(10分)
＜休憩＞
4. グループワーク1: 自信の実践の振り返りと見直し(10+5分)
5. グループワーク2: 授業案を考える(20+10分)
6. **質疑応答**

6. まとめと質疑応答

石川 智

satorui@bu.edu

米本 和弘

kaz.isc@tmd.ac.jp

森 祐太

y.mori@hum.leidenuniv.nl